九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

九州大学法学部ニュース ： 第16号

https://doi.org/10.15017/1440977

出版情報：法学部ニュース. 16, pp.1-10, 2014-03-31. 九州大学法学部広報委員会
バージョン：
権利関係：

FACULTY OF LAW

九州大学法学部ニュース 第16号

KYUSHU UNIVERSITY FACULTY OF LAW-NEWS Vol.16

平成26年3月31日　九州大学法学部広報委員会

平成25年度 学位授与式（卒業式）

平成26年3月25日に、平成25年度九州大学学位授与式（卒業式）が行われました。
卒業者は法学部192名、修了者は法学府23名です。

学部卒業式

学部卒業式

学部卒業式

学部卒業式

学部卒業式

卒業祝賀会

卒業祝賀会

卒業祝賀会

卒業祝賀会

卒業にあたって

江上　裕騎
（法学部総代・京都大学法科大学院進学）

月日が過ぎるのは早いもので、九州大学に入学して早4年が経ちました。本日、卒業という晴れの日を迎えることができたことを誠に嬉しく思います。私たちが無事この日を迎えることができたのは、支えてくださった家族、友人、先生方のおかげであり、卒業生を代表して、まず皆様に感謝の意を表したいと思います。

九州大学法学部では、法律学、政治学について学問的知識を修得できたのは勿論のこと、それにとどまらず、様々な貴重な経験をさせていただくことができました。特に、高い志を持った優秀な友人達と出会い、研鑽を積むことができたことが、私にとっては、最も貴重な経験であったと感じています。私は、法曹実務家を目指しておりますが、学生生活の中で、法曹実務家となるまでの険しい道程、将来への不安から挫折しかけたことが何度かありました。それでも、現在もその目標に向けて勉学に励むことができているのは、同様の志を持った友人達の努力する姿に感銘を受け、また、彼らに励まされたからであります。さらに、自身とは全く異なる志のもと、別の進路に進む友人達と交流し、議論をかわすことで、自らの視野を広げ、多様な考え方を身に付けることができました。このように、九州大学法学部の素晴らしき学友との交流を通じて、私は成長することができたと確信しています。

卒業後の進路は様々ですが、各人がそれぞれの道で、九州大学法学部出身者としての特質を活かしつつ社会に貢献し、指導的役割を担っていくことと思います。私も同輩達に負けぬよう一層精進し、九州大学法学部で学んだことを活かして社会に貢献していく所存です。

最後に、この場をお借りして、ゼミでご指導いただき、個人的にお世話になりました鶴田先生、田中教雄先生、七戸先生、遠藤先生、また、部活動でお世話になりました赤松先生に深くお礼を申し上げたいと思います。
4年間本当にありがとうございました。

田中教雄ゼミ旅行にて

法学府 学位授与式

中島琢磨氏の講演会を開催しました

2014年1月9日、ロー &プラクティス講演会「沖縄返還と日米安保体制」を開催しました。
この講演会は「政治動態分析1・基礎【政治史】」の授業の一環として行われ、講師には、九州大学法学府の出身である、中島琢磨氏(龍谷大学法学部准教授)にご登壇いただきました。

中島氏は、著書『沖縄返還と日米安保体制』(有斐閣、2012年)により、2013年、第67回毎日出版文化賞(人文・社会部門)と第35回サントリー学芸賞(政治・経済部門)を受賞されました。

講演では、受賞作のもととなった研究の概要や、その社会的・政治的背景、状況の変化についても、お話し頂きました。沖縄返還をとりまく日米政府の駆け引きや、密使・密約について、また日米安保条約や従来の法解釈、法と行政との一貫性を保とうと尽力する外務省官僚や政治家の姿を、外交文書の綿密な読み込みと日米の要人とのインタビューのエピソードから語っていただき、臨場感あふれる内容の講義に学生も熱心に聞き入っていました。

アメリカ領事と見て語る「アメリカの今!」を開催しました

1月29日(水)に、『オバマ大統領　一般教書演説2014　アメリカ領事と見て語る「アメリカの今!」』を開催しました。

一般教書演説は、大統領がアメリカの現状について報告し、来る立法年度に向けた政策を議会に提案するものです。最近では大統領は一般教書演説の聴衆を拡大し、国民と連邦議会議員の両方に向けて演説を行っています。

アメリカ領事館の政治経済担当キャラハン領事の解説とともに一般教書演説の生中継を見て「アメリカの今」を学ぶというものです。

当日は、他学部の学生も含め15名の学生が参加しました。

学生からは、アメリカ国内経済に関して最低賃金の底上げに物価上昇への懸念があるのか、また、アメリカでの軍に対する議会や一般市民の考え、教育分野に関する連邦政府の役割、アメリカへの留学についての質問があり、キャラハン領事と意見交換をしました。

キャラハン領事

韓国の法学専門大学院(ロースクール)協議会一行が法科大学院を視察しました

2014年1月20日、韓国の法学専門大学院(ロースクール)協議会一行が法科大学院を視察しました。

韓国では2009年に25校のロースクールが開校され、5年がたちました。

2009年以来、韓国のロースクールは多様な分野の優秀な学生を選考・教育し、国民の大きな期待や要請にこたえる法曹人を育てる努力をしてきました。

今回、韓国法学専門大学院協議会では、韓国ロースクールの継続的な発展と競争力や専門性を持った法曹人養成のため、日本の九州地域でセミナーを開催するため日本を訪問しました。その際に九州大学の法科大学院を訪問されました。

質疑応答の様子

当日は、法科大学院の見学および、質疑応答が行われ、韓国と日本のロースクールの発展方向を探る機会となりました。

台湾大学法律学院一行が来訪しました

台湾大学との交流について検討しました

九州大学法学研究院では、台湾大学との交流を進めるため以前より協議や交流を行ってきました。その過程で、2013年10月3日、選抜した大学院生、教員、院長からなる10名の訪問団が九州大学法学研究院を来訪されました。

台湾大学一行は、法学研究院を表敬後、文系図書館で貴重書を見学し、午後からは台湾大学と九州大学の共同研究会を開催しました。

台湾大学からは、大学院生らが「日本と台湾の合意に相当する審判の比較」「財政悪化時における取締役の債権者に対する責任」をテーマに発表を行いました。また、「非嫡出子の法的地位」についての発表では、台湾大学・九州大学双方から研究発表を行い、日本と台湾における非嫡出子の法的地位の相違について議論が交わされました。

また、今回の来訪では、今後の両部局の交流についても意見交換が行われ、両大学の一層の国際交流を深める機会となりました。

共同研究会

共同研究会後の記念撮影

留学を終えて

内藤　圭祐

私は、大学3年生の後期からの一年間法学部部局間交換留学で中国・上海の華東政法大学へ留学しました。今回は、留学後の就職活動(以下　就活)を主軸に留学について記したいと思います。留学後の就活については、意外と情報が少ないので留学前や留学後にお役に立てたら幸いです。

留学先の華東政法大学

就活は3年生に交じり、4年の12月から始めました。世界を舞台に日本のために働きたいと考えメーカーを希望し、20～30社の面接を受けました。面接では語学力はもちろん、異文化への多様性の理解が出来たこと、異国の地で一人で生活をしたタフさをアピールしました。そして、最終的には大規模なプロジェクトに関わり易いことから重工メーカーに進むことに決めました。

次に、面接で留学について聞かれたことを2点ポイントにして記したいと思います。まず、1点目はグローバルとは何か?を考えるということです。今日、グローバル人材を求める企業は多く、留学経験者の多くはそのような企業を志すと思います。しかし、これは単に外国語を喋れることではありません。そのため、必ずこの言葉に対して自分なりの定義付けをしてください。ちなみに、私が考えるグローバル人材とは適応力と行動力のある人だと考えます。これは、自分の経験から異なる環境に適応し(適応と迎合は違います。)、その上で自分のスタンスを作り行動していくことの重要性を痛感したからです。このように、グローバル人材とは何なのかを明確にし、将来自分はどのように世界を舞台に羽ばたきたいか考えてみて下さい。

留学生スピーチコンテストにて

2点目は、就活の面接において留学のことを話す際は単に思い出を語るのではないことを意識することです。留学以外でも当てはまりますが、其の事柄の目的・過程・結果・考察について、行動する前はもちろん、行動後も改めて考えて下さい。つまり、何のために留学し、そのために何をし、その結果どうなり、その結果についてどう考え、今どのような行動をしているのかということです。このことを再考するだけで、自分の考えが整理され、話もスマートになると思います。

最後に、話は少しズレますが留学する人は留学を是非楽しんで下さい。就活やスキルアップのために留学し、語学等を学ぶのは確かにいいことだと思います。しかし、言語は単なるスキルでなく、精神の具現でもあります。そのため、その国の言語を通し新たな認識の枠に触れ、刺激を受けてもらえたら幸いです。

上海の夜景

法学部同窓会が開催されました

総会

陶山法学部同窓会会長

第38回九州大学法学部同窓会が2013年10月18日(金)に、西鉄グランドホテルにて開催されました。

当日は、総会、懇親会が行われ、300名を超える卒業生・在校生・教職員が参加しました。

法学部同窓会は、毎年10月の第三金曜日に行われます。

卒業生の皆様、是非ご参加ください。

乾杯

司会を務めた法学部3年生の
櫻木さん、髙倉さん、吉田さん(左から)

九州大学法律相談部が第63回全日本学生法律討論会で立論の部・質問の部で第1位を収めました。

2013年12月14日(土)に、大阪の関西大学にて開催された第63回全日本学生法律討論会で、九州大学法律相談部が総合優勝を果たしました!

当部は今年から全日本学生法学連盟に加入し、地区大会である九州瀬戸内法律討論会にて2位の成績を収め全国大会に出場し、初参加にして立論の部・質問の部共に優勝を飾ることが出来ました。

九州大学法律相談部は、箱崎キャンパスにて、法学部生および法科大学院生による無料法律相談(九大OB弁護士および法科大学院教員も協力)を無料で行っています。

法学部新AO入試・GV(Global Vantage)プログラム 2015年度スタート

九州大学法学部は、2015年度から、日本人学生を対象としたグローバル人材の育成を目指して、英語による教育を重視した学士・修士一貫国際ビジネス法プログラム「GV(Global Vantage)プログラム」を設置します。

GVプログラムは、法学部+修士課程(LL.M.)の実質5年間で、「グローバル・ローヤー」を育成します。ここでいう「グローバル・ローヤー」とは、「各国の法律家に互して、英語で交渉し、契約書を起草し、各国での法適合性を調査し、国際ルールの策定に参加するなど、国際ビジネスの最先端で活躍する人材」です。

「基調講演」
福岡女子短期大学　石黒文雅 氏

1994年、九州大学は、英語のみで修士(法学)を取得することのできるLL.M.プログラムを日本で初めて開始しました。以来、世界約50の国と地域から400名を超える卒業生を輩出して、欧米のトップ大学のLL.M.に匹敵する実績を挙げてきました。卒業生の中には、LL.M.で獲得した法的専門能力を生かして、国際的弁護士事務所、各国官公庁、研究機関等の第一線で活躍する人たちも多くいます。

「GVプログラムについて」
五十君麻里子教授

他方、九州大学法学部は、2000年(平成12年)、全国の国立大学に先駆けてAO入試を導入しました。しかし、導入から9年後の2009年、当初の導入目的であった「ユニークな人材の獲得」が、受験対策の徹底等によって困難になり、他の選抜方法との間に有意な差が見いだされなくなったため、これを廃止いたしました。

しかし、これによって、法学部での「ユニークな人材の獲得」をあきらめた訳ではなく、その後も、現在の社会で嘱望される「ユニークな人材」の定義や、そのような人材を育てるための条件について議論を重ねました。その結果、「法的専門性を持つグローバル人材=グローバル・ローヤー」の養成と、そのための、①きめ細かな少人数制チュートリアル教育、②複数回の留学、③法学部とLL.M.とをつないだ一貫教育、を根幹に据えた、新たな教育プログラムを構想するに至りました。

そしていま、必要な科目の設置とカリキュラム整備、外国人教員の任用、短期・長期留学支援体制の整備、LL.M.進学のための英語集中コース、LL.M.早期入学制度など、この目的を達成するためのシステムの目処が、ようやくたちました。満を持して、2015年度からAO入試を復活し、日本人学生を対象とした「法的専門性を持つグローバル人材」の養成を目指すべく、国際的に活躍する夢を持った受験生(募集定員10名)を募集します。

GVプログラムには、プログラム独自の必修科目はありません。通常の法学部教育、つまり、日本語による日本法の学修や基本的な法的思考の習得もしっかり行います。これに加えて、九州大学の基幹教育(低年次教育。2014年度スタート)や法学部教育で開講されている、英語力や国際性を養う科目を選択することで、プラスアルファの専門能力を身につけられるようにします。

また、短期の留学を皮切りに、より長期の留学を経験し、「留学はあたりまえ」という雰囲気を作ります。

以上の教育プログラムを確実に実現するため、専任のチューターの下、一人ひとりの個性に応じた履修プランを策定し、自分で短期・長期の学習計画をたて、教員との緊密なフィードバックを重ねながら、同じ夢を持った仲間とお互いを高め合い、学び合う、少人数指導環境を用意します。

最後の1年間のLL.M.では、より高度な国際経済ビジネス法に関する知識を、将来のグローバル・エリートと机をならべ、磨いて行きます。

こうして得た法的専門能力と、LL.M.の学位を持って、GVプログラムの卒業生は、国内外を問わず、国際的な法実務の第一線で活躍されることが期待されます。(詳細は、http://gv.law.kyushu-u.ac.jp/)

2014年3月16日に、このGVプログラムの広報イベントを、九州大学箱崎キャンパスで開催しました。イベントでは、高校英語教育の専門家(福岡女子短期大学 石黒文雅教授)による講演、GVプログラム・LL.M.コースの紹介、英語による法学入門の模擬授業やLL.M.の体験授業、入試模擬問題の紹介と解説のほか、LL.M.のOB,OGとの懇談会や個別質問会が行われました。47名の高校生、保護者、高校教員がこのイベントに参加し、魅力ある進路の選択肢として、強い興味を持って聴講されていました。

現在、「グローバル」を謳う入試コースや大学が、(その内実は様々ですが)全国的に増えています。また、若年者人口の減少や労働市場の変化に伴い、学生が大学で何を学び、何を身につけるのかが、改めて厳しく問われています。

この状況にあって、九州大学法学部は、今後も有意義で特色ある法学教育のあり方、学生一人ひとりが自己実現を果たし、社会が真に求める人材を輩出する高等教育のあり方を、世界的・長期的視野に立って模索・実現してゆきたいと思います。

LL.M. OBとの懇親会

「LL.M.コース授業」
フェンウィック准教授

「英語による法学入門」
ヴルブカ准教授

九州大学法学部
GVプログラムのお問い合わせは

九州大学法学部
tel:(092)642-3168
e-mail:gvp@law.kyushu-u.ac.jpまで。
ホームページ:http://gv.law.kyushu-u.ac.jp/

法学部教員の近著 (判例解説を除く)

※法学部HPでも随時紹介しています。

赤坂幸一(編著)
『初期日本国憲法改正論議資料/萍憲法研究会速記録(参議院所蔵)1953-59』(柏書房)
赤坂准教授
2014年2月

内田博文
『自白調書の信用性』〔神戸学院大学法学研究叢書20〕(法律文化社)
内田名誉教授
2014年2月

七戸克彦
『不動産登記法案内』(勁草法学案内シリーズ)(勁草書房)
七戸教授
2014年1月

武内謙治(編著)
『少年事件の裁判員裁判』(現代人文社)
武内准教授
2014年1月

宇賀克也(責任編集)
『行政法研究〔第4号〕』(信山社)
村上教授
2014年1月

窪田充見=佐久間毅=沖野眞巳(編著)
『民法演習ノートⅢ/家族法21問』(弘文堂)
小池教授
2013年12月

法学セミナー編集部(編)
『論文式試験の問題と解説〔民事篇〕2007～2012』(日本評論社)
七戸教授、堀野教授
2013年12月

井上正仁=酒巻匡(編)
『刑事訴訟法の争点』(新・法律学の争点シリーズ6)(有斐閣)
田淵教授
2013年12月

能見善久=加藤新太郎(編)
『論点体系　判例民法8　不法行為Ⅱ〔第2版〕』(第一法規)
五十川教授
2013年12月

大橋洋一=斎藤誠=山本隆司(編)
『行政法判例集1/総論・組織法』(有斐閣)
大橋名誉教授
2013年12月

岩村正彦=菊池馨実=嵩さやか=笠木映里(編著)
『目で見る社会保障法教材〔第5版〕』(有斐閣)
笠木准教授
2013年12月

長谷部恭男=安西文雄=宍戸常寿=林知更(編)
『現代立憲主義の諸相/高橋和之先生古稀記念』(有斐閣)
南野准教授、安西教授
2013年12月

七戸克彦
『基本講義物権法1/総論・占有権・所有権・用益物権』(新世社)
七戸教授
2013年12月

平成25年度　進路先一覧

(平成26年3月25日現在)

卒業生 192名(進学36、企業75、公務員52、その他29)

右欄は、女子で内数

企業

東京海上日動火災保険	4	2
三菱電機	3	1
三菱東京UFJ銀行	3	1
住友生命保険	2	1
損保ジャパン日本興亜	2	
大和証券	2	
トヨタ自動車九州	2	1
西日本シティ銀行	2	
明治安田生命保険	2	2
IHI	1	
RKB毎日放送	1	
SMBC日興証券	1	
アクセンチュア	1	
英進館	1	
大島造船所	1	1
オネスティ	1	
鹿児島県信用保証協会	1	1
九州大学	1	1
九州電力	1	
黒崎播磨	1	
さなる九州	1	1
シャープ	1	1
商工組合中央金庫	1	
大和リース	1	
中国電力	1	
テレビ愛媛内定	1	
西日本鉄道	1	1
日揮触媒化成	1	1
日本銀行	1	1
日本合成化学工業	1	1
日本司法支援センター	1	1
日本赤十字社	1	
日本たばこ産業	1	1
農林中央金庫	1	
博多大丸	1	1
パナソニックシステムネットワークスジャパンカンパニー	1	1
光村図書出版	1	
広島銀行	1	
福岡県信用農業協同組合連合会	1	
富士通システムズイースト	1	
本田技研工業	1	
毎日新聞社	1	1
ミスターマックス	1	
みずほフィナンシャルグループ	1	
三井住友海上火災保険	1	
三井住友銀行	1	
三菱電機ビルテクノサービス	1	
宮崎交通	1	1
森トラスト	1	1
郵船ロジスティクス	1	
ゆうちょ銀行	1	1
横川ブリッジ	1	
吉川工業	1	
りそな銀行	1	1
ワコール	1	1
日本駐車場開発	1	
福岡銀行	1	1
福岡放送	1	
双日九州	1	1
トヨタ自動車九州	1	
H.I.S.	1	1
育商会	1	
計	75	30

公務員

福岡市	4	4
熊本県	3	
福岡地方裁判所	3	2
福岡法務局	3	1
大分県	2	1
大分地方裁判所	2	1
長崎県	2	
広島市	2	
福岡県	2	
福岡国税局	2	1
宇城市	1	
沖縄県	1	
小郡市	1	
会計検査院	1	1
鹿児島県	1	1
鹿児島市	1	
北九州市	1	1
九州地方更生保護委員会	1	1
熊本市	1	
熊本地方裁判所	1	
久留米市	1	
警察庁	1	
検察庁	1	1
皇居警察本部	1	
佐賀市	1	
島根県	1	
総務省	1	
農林水産省	1	
兵庫県姫路市	1	
福岡家庭裁判所	1	
福岡地方検察庁	1	
防衛省	1	
法務省	1	1
宮崎県	1	1
厚生労働省	1	1
八女市	1	
大分市	1	1
計	52	19

進学先

九州大学法科大学院	16	3
九州大学大学院法学府	8	2
京都大学法科大学院	2	
京都大学大学院	1	
東京大学法科大学院	2	
九州大学芸術工学府	1	
慶應義塾大学法学研究科	1	
慶應義塾大学法科大学院	2	
中央大学法科大学院	1	
同志社大学法科大学院	1	
西南学院大学法科大学院	1	
計	36	5

編集後記

特集でもお知らせしましたが、法学部は2015年度からGlobal Vantageプログラム(新AO入試)を実施し、国際社会で活躍できる専門性を持った人材(グローバル・ローヤー)を育成します。興味のある方はホームページをご覧ください。法学部ニュースに対するご意見・ご寄稿をお待ちしています。

炭崎 貴子(sumisaki@law.kyushu-u.ac.jp)